

に取り組んでもらいたい」

環境経営HD、「エシカル認証」原料で化粧品の新価値を提案

環境経営ホールディングスは、医療・美容分野を中心としたコンサルティング事業の一環として、国内外の支援団体・企業との連携によるビジネス創出プロジェクトを推進している。

2018年3月には、エシカルプロジェクトを通じて取り扱う化粧品原料「プリンセピアオイル」にてエシカル原料であることを示す「For Life (フォーライフ) 認証」を取得し、サステナブルなエイジングケアオイルとして紹介を開始した。

「プリンセピアオイル」は、ヒマラヤ高地の限られた場所にしか自生しないバラ科の花「プリンセピア」の種子から抽出された天然植物オイルで、抗酸化成分として知られるビタミンEを豊富に含み、中でも「γトコフェロール」はオリーブオイルの35倍以上を占めている。そのほか、リノール酸やオメガ3・6・9の不飽和脂肪酸も多く含まれている。

オーガニック・ナチュラル化粧品市場は拡大傾向が続く成長カテゴリーで、近年は「エコサート」をはじめとするオーガニック認証取得原料を採用して市場での差別化を図るブランドが増えている。また、環境・社会問題の観点から企業のサステナビリティへの関心も高まっている。

そうした市場環境にあって、エシカル原料は今後、製品価値から企業価値を高める素材としても注目を集めそうだ。

BROZOM JP-NG LTD.、民間レベルでアフリカと日本の絆を紡ぐ

さて、「アフリカ」と聞いて何をイメージするだろうか。貧困、紛争、支援といった言葉を連想した人も多いのではないだろうか。「日本人のアフリカに対するイメージは何年経っても変わらない」。そう嘆くのは、2004年から日本に在住する、BROZOM JP-NG LTD. 代表取締役CEOのアマハ・ジョイ氏だ。

日本の大学に進学し、在日アフリカ外交団のアシスタントやコーディネーターを経て、09年に日本の民間企業のアフリカ進出を支援する会社「BROZOM JP-NG」